

第49期 (2021年9月期)

決算補足資料



目次

1. 2021年9月期決算の概要	3
2. セグメント別決算概要	17
3. 2022年9月期業績予想	23
4. MDKグループ中長期ビジョン グローバルビジョン∞ PART I	27
5. 会社概要	37



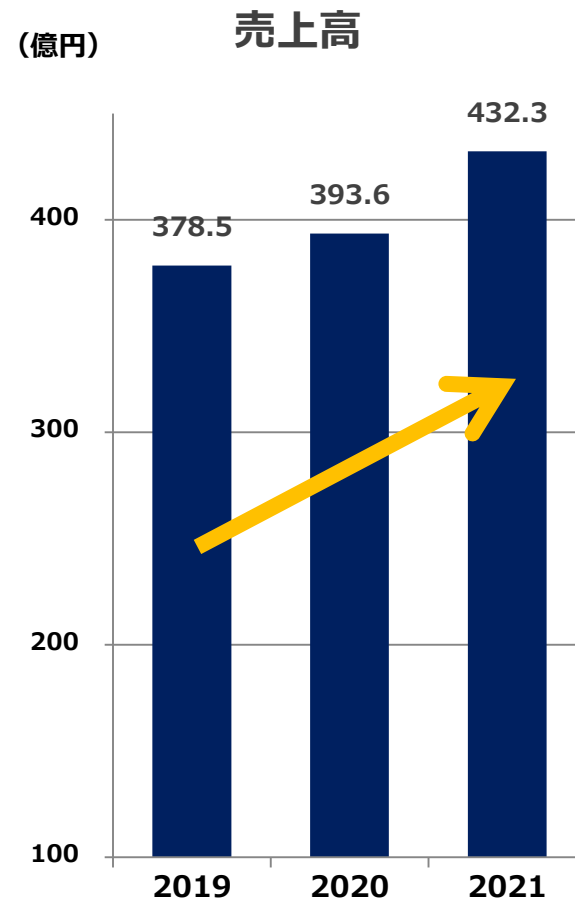
1

2021年9月期 決算の概要

連結決算サマリ (売上高)

(単位：億円)

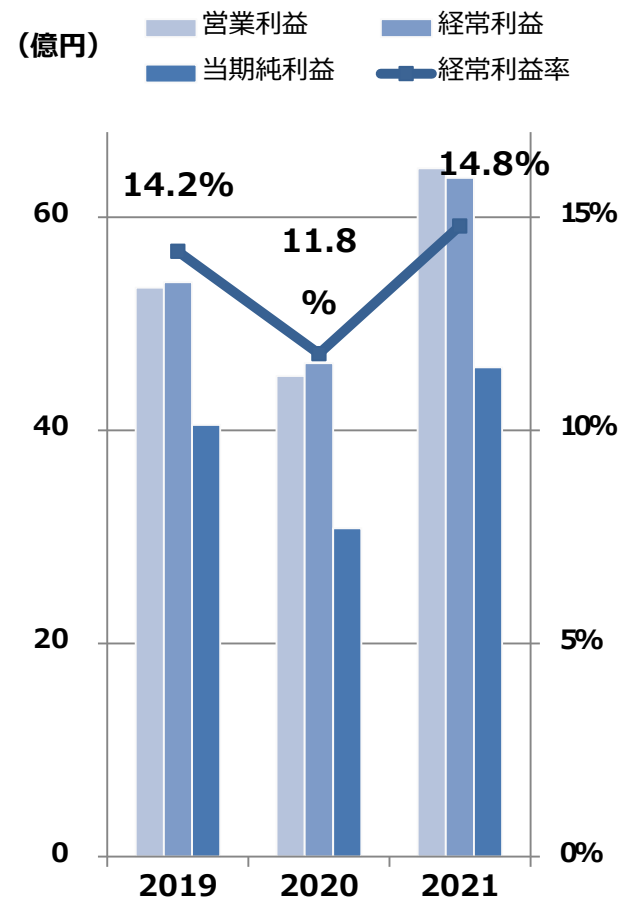
	2020	2021		前年比 (増減率)
		実績	売上比	
売上高	393	432	100.0%	+38 (+9.8%)
営業利益	45	64	14.9%	+19 (+43.1%)
経常利益	46	63	14.8%	+17 (+37.6%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	30	45	10.6%	+15 (+48.7%)



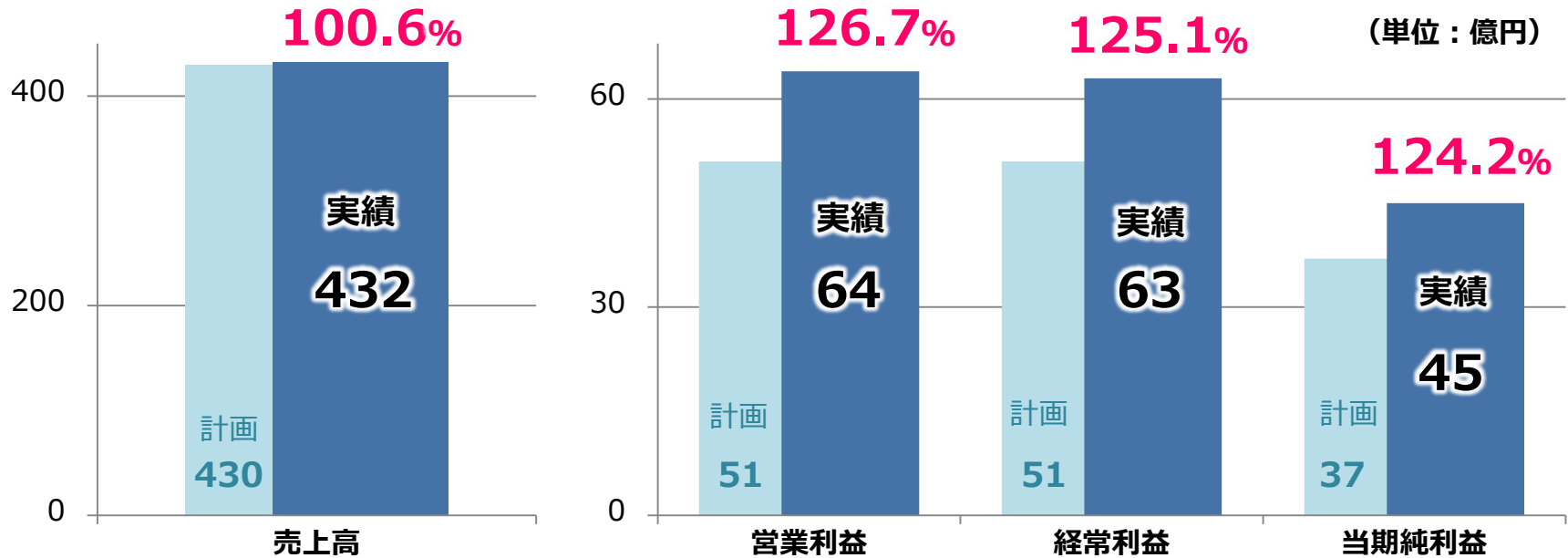
連結決算サマリ (利益推移)

(単位：億円)

	2020	2021		前年比 (増減率)
		実績	売上比	
売上高	393	432	100.0%	+38 (+9.8%)
減価償却費	24	30	7.1%	+ 6
治験等費用	3	4	0.9%	+ 0.8
営業利益	45	64	14.9%	+19 (+43.1%)
経常利益	46	63	14.8%	+17 (+37.6%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	30	45	10.6%	+15 (+48.7%)



2021年9月期計画と実績値との比較



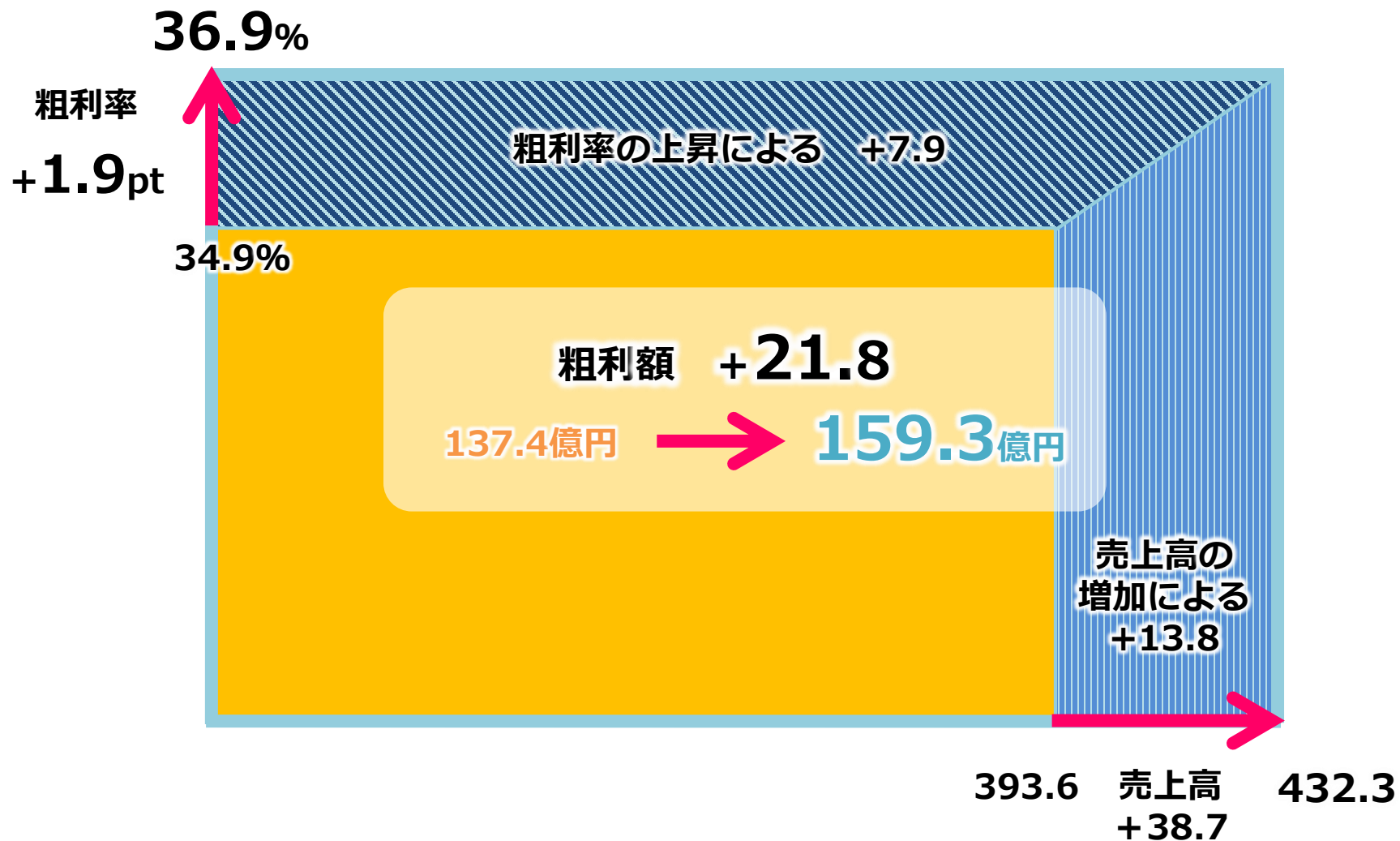
	2020実績	2021		
		計画 (当初)	実績	達成率
売上高	393	430	432	100.6%
営業利益	45	51	64	126.7%
EBITDA	71	81	96	118.7%
減価償却費等	26	30	31	105.1%
経常利益	46	51	63	125.1%
当期純利益	30	37	45	124.2%

※EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれんの償却額 ※当期純利益 = 親会社株主に帰属する当期純利益

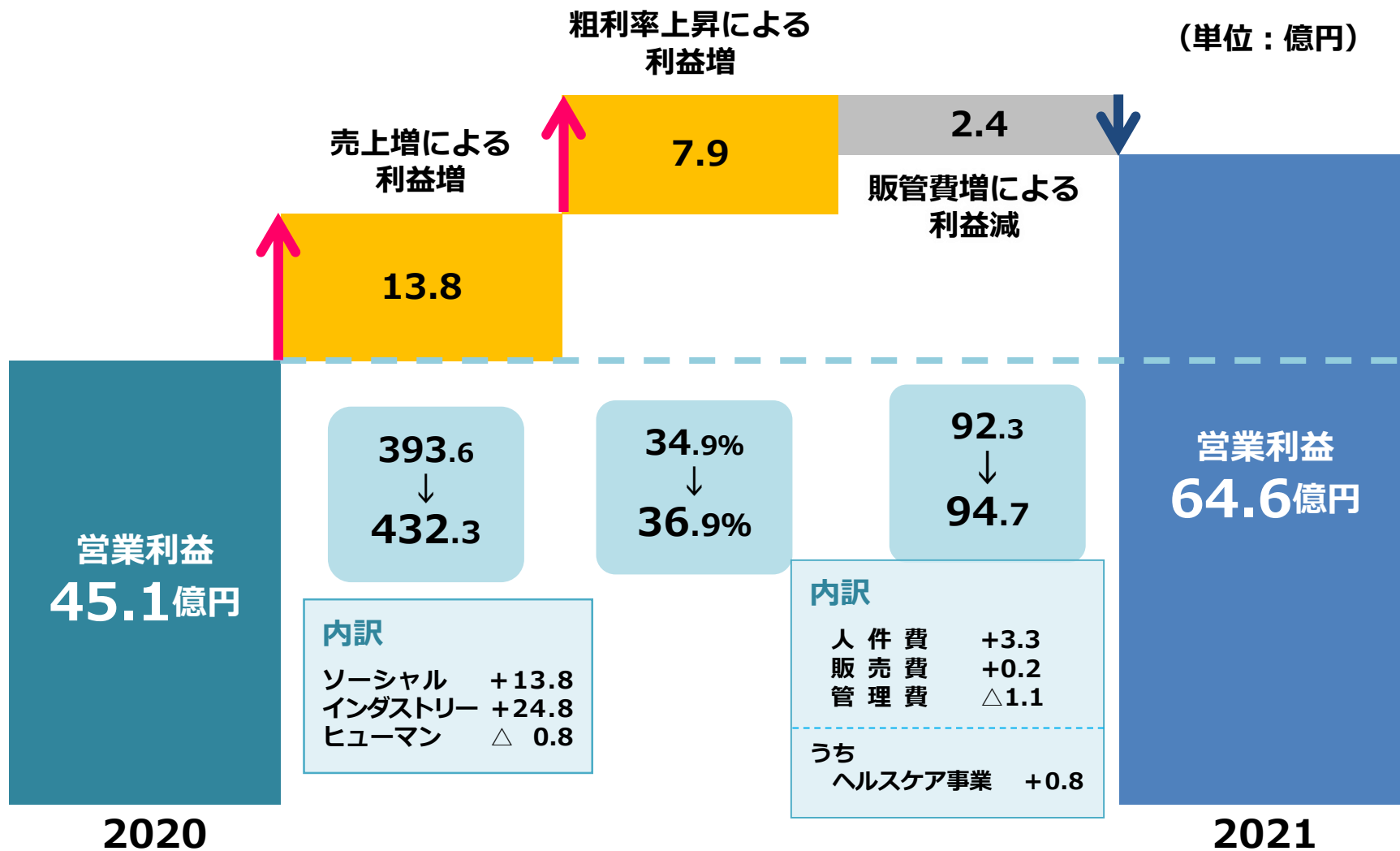
※連結業績予想値については、2021年10月14日付で上方修正を行っております

粗利益の増減要因

(単位：億円)

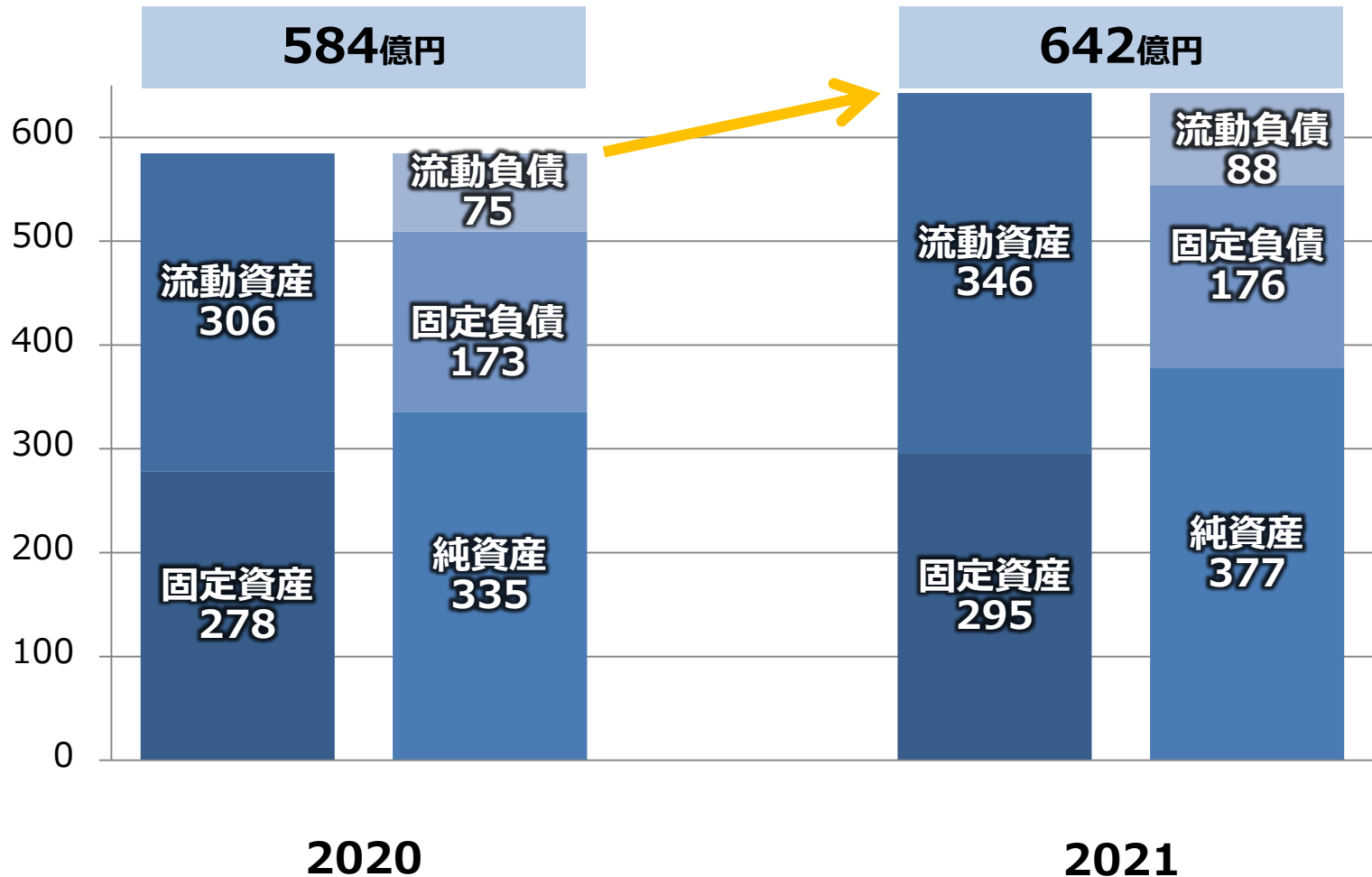


営業利益の増減要因



資産・負債・純資産

(単位：億円)

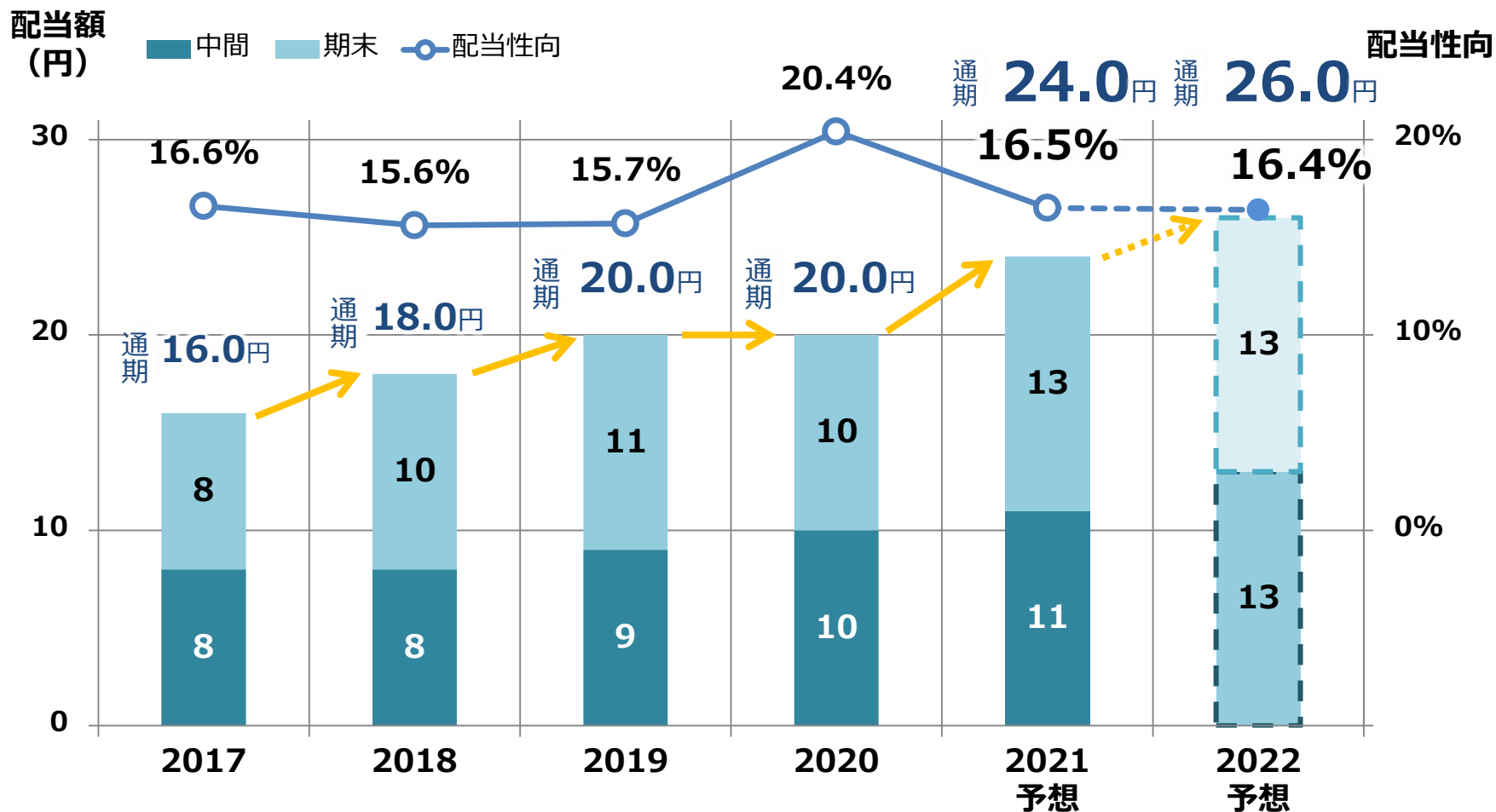


配当予想

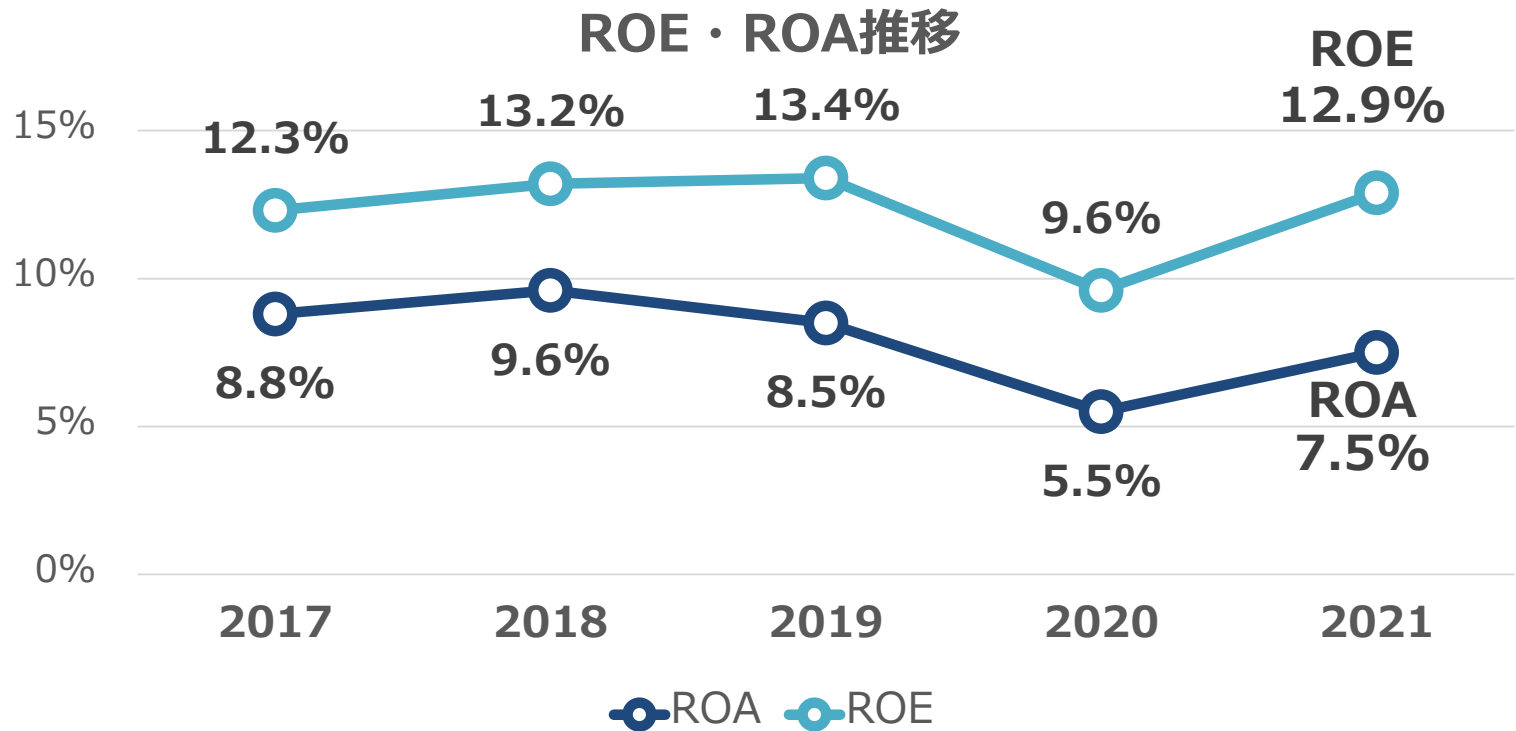
2021年：中間配当 前年比1株当たり1円増配実施

：期末配当 計画比2円、前年比3円増配の13円を予想

2022年：前年比2円増配の26円を予想



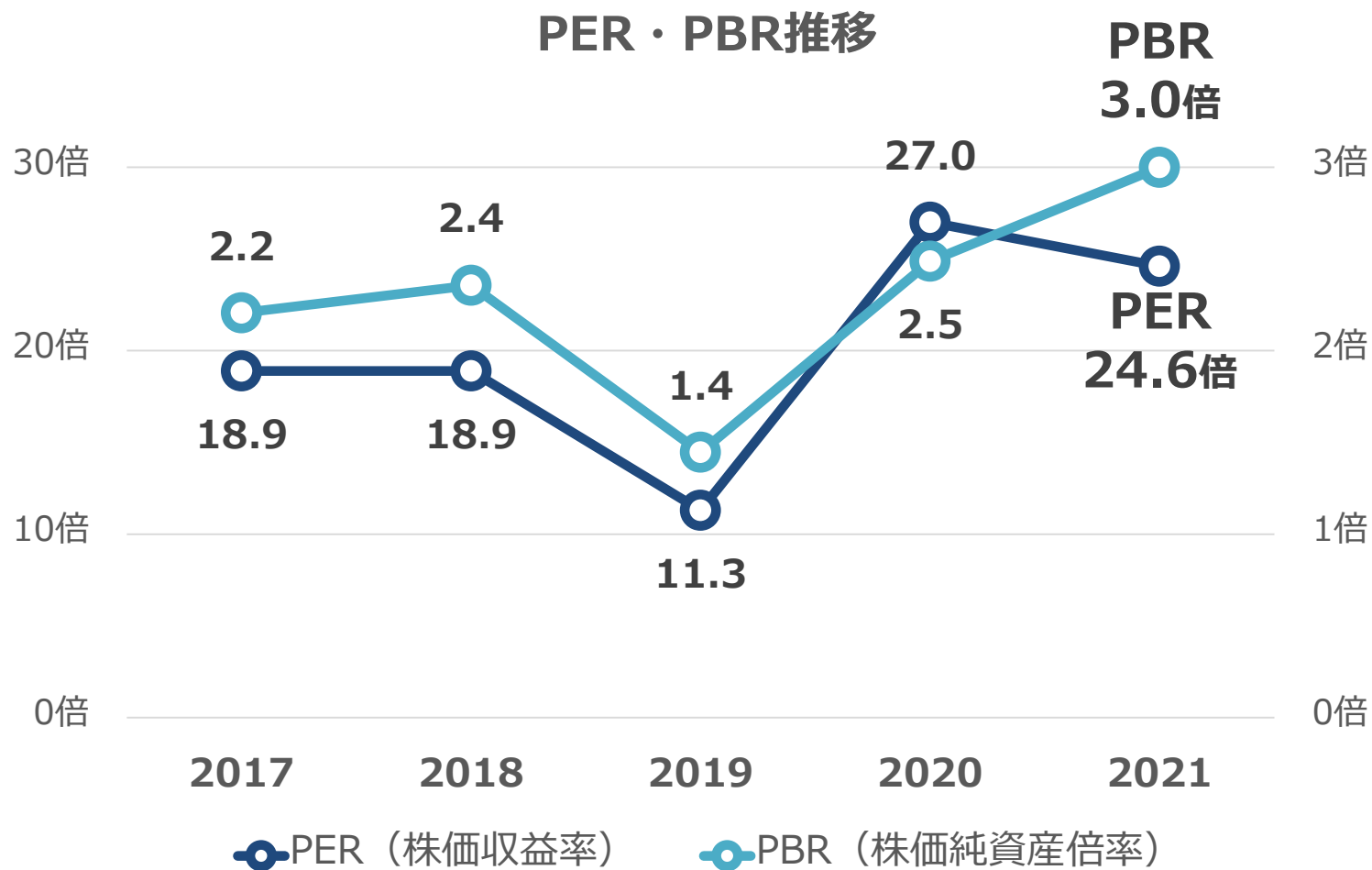
経営指標 – ROE・ROA / 格付



発行体格付

格付機関	発行体格付	格付の方向性
格付投資情報センター (R&I)	BBB+	安定的

経営指標 – PER・PBR



TOPICS – エスケー電気工業子会社化

2021年2月

株式100%取得

2021年9月21日
未来のアグリ(株)と合併

エスケー電気工業株式会社

事業内容

電気牧柵の製造・販売、酪農用製品の販売

子会社化のポイント

- 電気牧柵のパイオニアとして60年以上の実績
 - 幅広いニーズに応える豊富な酪農用品
- 未来のアグリ株式会社との相乗効果大
 - 農業分野の取扱商材の多様化、相互の販売網を活用

所在地	北海道苫小牧市
設立	1948年8月20日
資本金	2,000万円
従業員	14名



TOPICS – セブンケミカル子会社化

2021年9月

株式100%取得



事業内容

外壁用の防水材、保護・仕上げ材の製造・販売

子会社化のポイント

- 外壁防水材のパイオニアとして防水性・耐久性・施工性などに優れた高機能防水材を他社に先駆けて開発
- 防汚・防滑・遮熱等幅広い製品ラインナップ
 - 当社の構造物の補修・補強技術との相乗効果
建物の老朽化対策としてリフォーム工事の需要拡大を見込む

所在地	東京都新宿区
設立	1971年7月9日
資本金	5,000万円
従業員	26名



セブンS/SSシリーズ

外観の意匠性を損なわない
透明塗膜の防水材

TOPICS – 松屋アールアンドディと業務提携

2021年5月

株式3.8%取得

株式会社松屋アールアンドディ

事業内容

縫製自動機の開発・製造・販売

血圧計腕帯・カーシートカバー・エアバッグの製造・販売

業務提携のポイント

- ①生産体制の整備・運営のノウハウの共有
- ②新規事業の企画・研究・開発・設計・生産・販売業務等の提携

所在地	福井県大野市		
設立	1982年8月7日	資本金	3億536万円
従業員	1,440名（連結）（2021年3月末時点）		

TOPICS – ファームノートHDに出資

2021年7月

出資額 1億9,600万円

株式会社ファームノートホールディングス

事業内容

農業 IoT ソリューションの開発・提供

(酪農・畜産デジタルトランスフォーメーション (DX) 実現支援)

出資のポイント

ファームノートHDが得意とする農業 IoT、DX の推進による酪農・畜産業界の課題解決

- ➡ 事業を通して社会課題解決に貢献する企業でありたいという当社グループの思いにも通ずる
- 未来のアグリ（当社グループの農業事業）との関連性
- 土木・建築、農業、漁業、自動車、医療など幅広い事業でのイノベーションによる新しい市場の創出にも期待

同時に業務提携契約締結

所在地

北海道帯広市

設立

2016年12月22日

資本金

5億1,900万円



2

セグメント別 決算概要

セグメント別決算概要

(単位：億円)

		2020	2021	前年比 (増減率)
ソーシャル インフラ事業	売上高	263	277	+ 13 (+ 5.2%)
	営業利益	51	59	+ 8 (+ 17.0%)
インダストリー インフラ事業	売上高	129	154	+ 24 (+ 19.2%)
	営業利益	7	18	+ 10 (+ 140.0%)
ヒューマン インフラ事業	売上高	-	-	- (-)
	営業損失(△)	△3	△4	△ 0.8 (-)
全社・消去	営業利益	△ 10	△ 9	+ 0.7 (-)
計	売上高	393	432	+ 38 (+ 9.8%)
	営業利益	45	64	+ 19 (+ 43.1%)

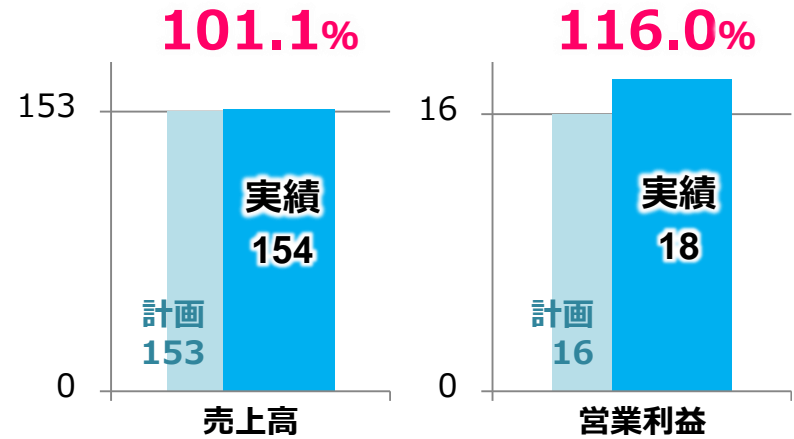
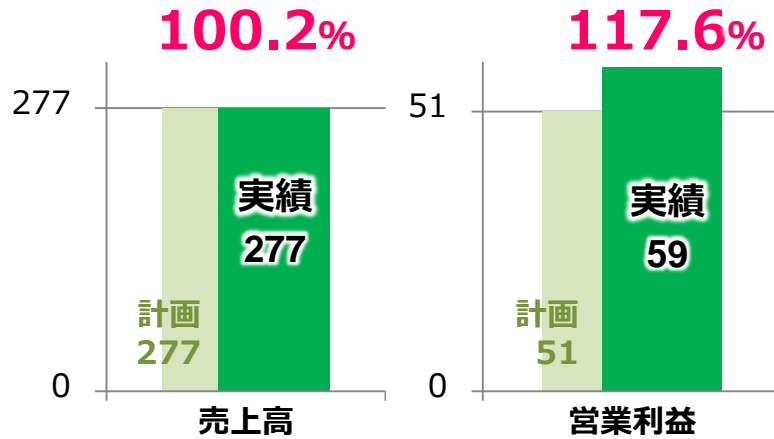
※2021期より「自動車ホイール事業」を「インダストリーインフラ事業」に、「メディカル事業」を「ヒューマンインフラ事業」に移行しております。

2021年9月期 通期計画に対する達成率

(単位：億円)

ソーシャルインフラ事業

インダストリーインフラ事業

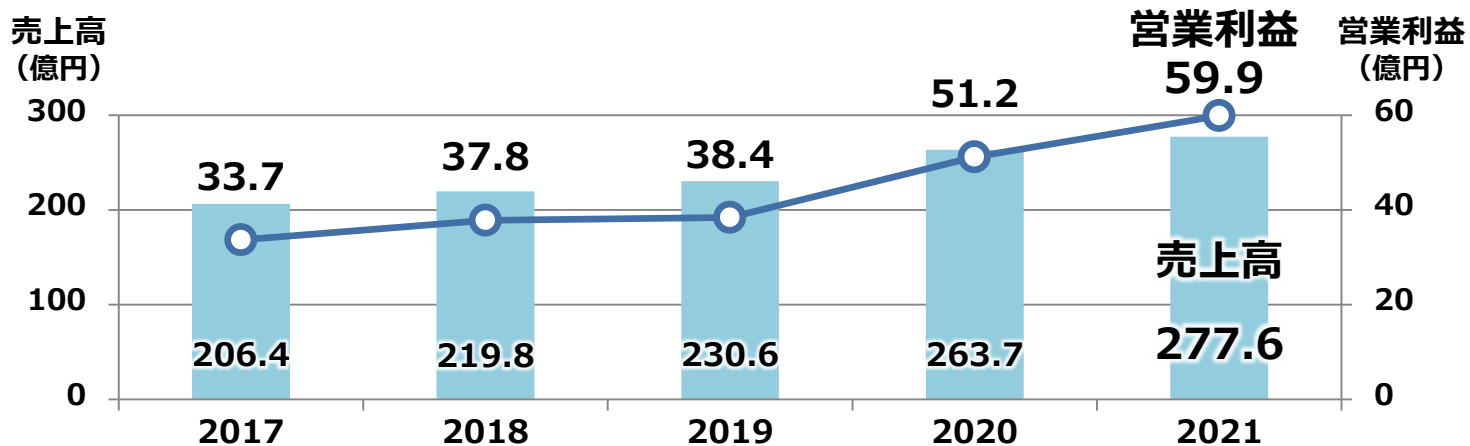


セグメント	売上高			営業利益		
	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率
ソーシャルインフラ事業	277	277	100.2%	51	59	117.6%
インダストリーインフラ事業	153	154	101.1%	16	18	116.0%
ヒューマンインフラ事業	-	-	-	△ 5	△ 4	-
全社・消去	-	-	-	△ 11	△ 9	-
計	430	432	100.6%	51	64	126.7%

※2021期より「自動車ホイール事業」を「インダストリーインフラ事業」に、「メディカル事業」を「ヒューマンインフラ事業」に移行しております。

セグメント別業績概況

ソーシャルインフラ事業



プラス要因

- ▶ 期ズレ案件が一部あったものの公共事業関連資材全般が順調
- ▶ 特に斜面・緑化事業、構造物メンテナンス事業が好調
- ▶ 不織布（спанボンド）はマスクほか フル操業

- ▶ 景観マテリアル事業（プラ擬木）は新規取組みが浸透せず
- ▶ 園芸用ハウスは施工延期となった物件があった（未来のアグリ）
- ▶ 防衛関連の受注の伸び悩み（未来テクノ）

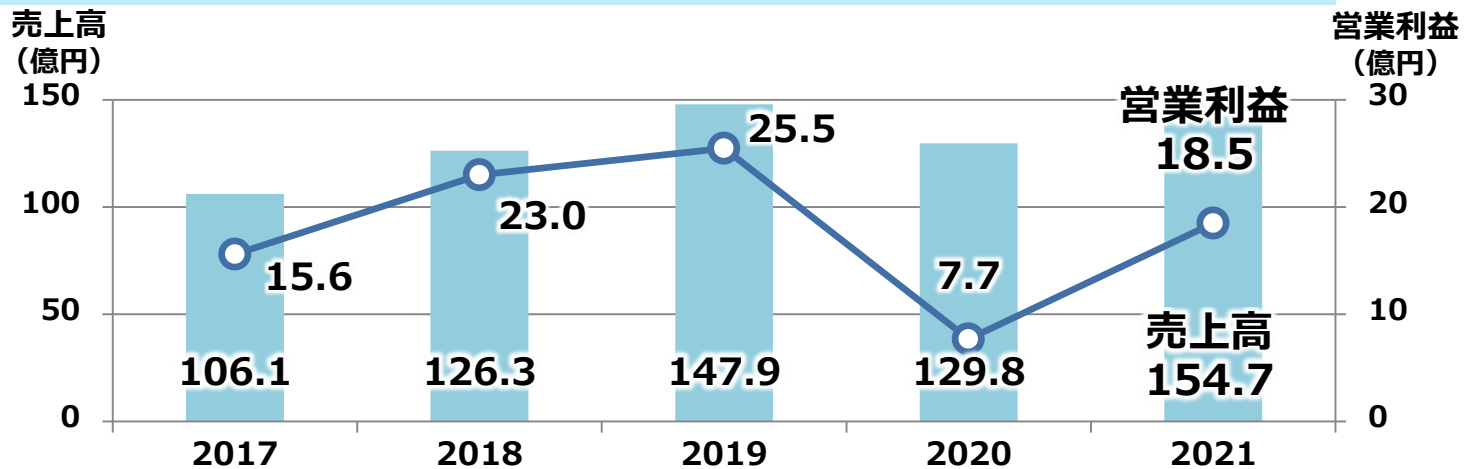
マイナス要因



防草シート
「アスガード」

セグメント別業績概況

インダストリーインフラ事業



プラス要因

- ▶ BBS事業は国内のOEM・アフター市場向けが下半期に回復
- ▶ 生産稼働率の上昇による原価低減および運賃等の販管費の削減により利益回復

- ▶ BBS事業は、積極的設備投資より減価償却費が増加
- ▶ 未来コーセン事業では、新型コロナウイルスの影響が続き、衣料向け受託製品低迷

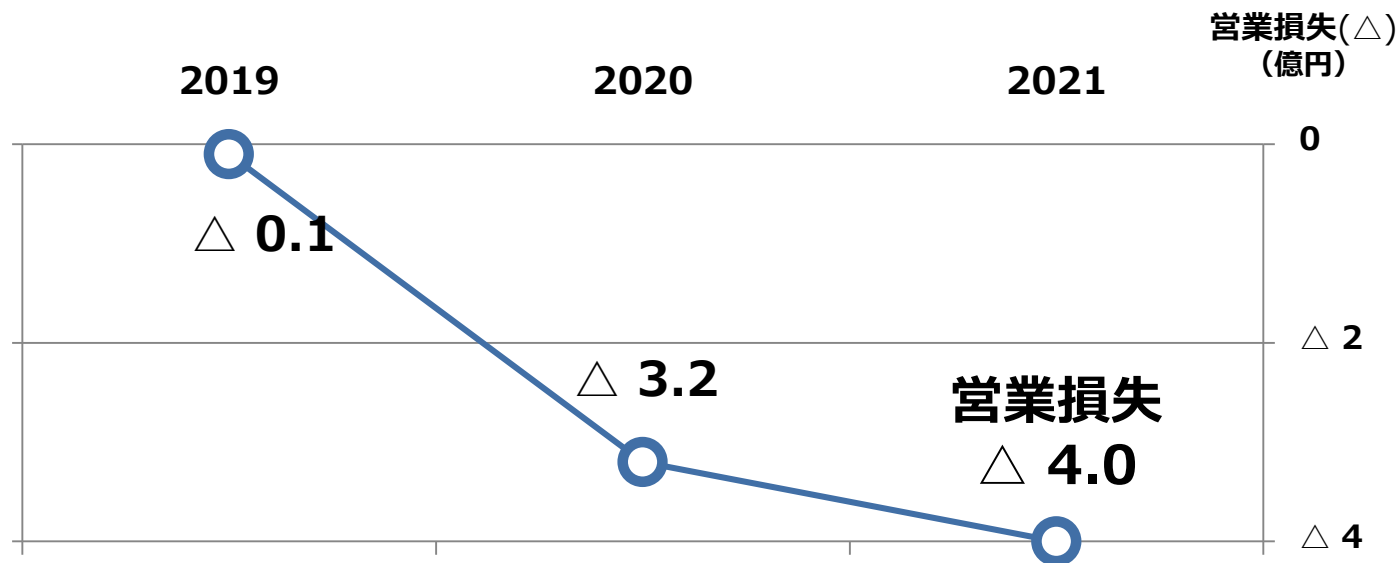
鍛造2ピースホイール
SUPER-RS
50thアニバーサリーエディション



マイナス要因

セグメント別業績概況

ヒューマンインフラ事業



医療機器の治験に係る費用を計上

⇒ 治験による経費増

臨床試験の状況

2021年9月 治験者（132件）組み入れ完了
今後、一定期間の経過観察

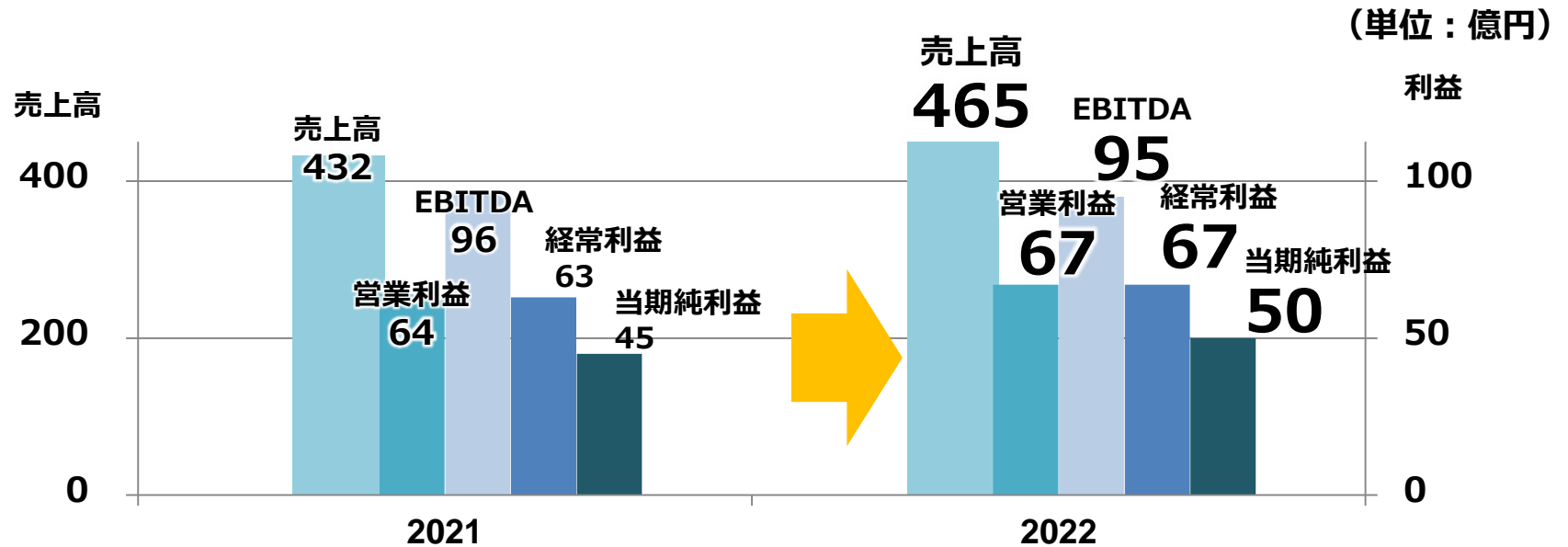




3

2022年9月期 業績予想

業績予想（連結）



	2021/9期 通期実績	2022/9期		
		2Q計画	通期計画	通期伸び率
売上高	432	234	465	7.5%
営業利益	64	31.5	67	3.7%
EBITDA	96	44.5	95	△1.2%
減価償却費等	31	13	28	—
経常利益	63	31.5	67	5.0%
当期純利益	45	22.5	50	8.8%

※EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれんの償却額 ※当期純利益 = 親会社株主に帰属する当期純利益

業績予想（セグメント別）

（単位：億円）

		2021 通期実績	2022年通期計画	
			計画額	前年比（増減率）
ソーシャル インフラ事業	売上高	277	295	+ 17（+ 6.3%）
	営業利益	59	60	+ 0（+ 0.1%）
インダストリー インフラ事業	売上高	154	170	+ 15（+ 9.9%）
	営業利益	18	22	+ 3（+ 18.5%）
ヒューマン インフラ事業	売上高	-	-	-（-）
	営業損失(△)	△4	△4	+ 0（-）
全社・消去	営業利益	△9	△11	△ 2（-）
計	売上高	432	465	+ 32（+ 7.5%）
	営業利益	64	67	+ 2（+ 3.7%）

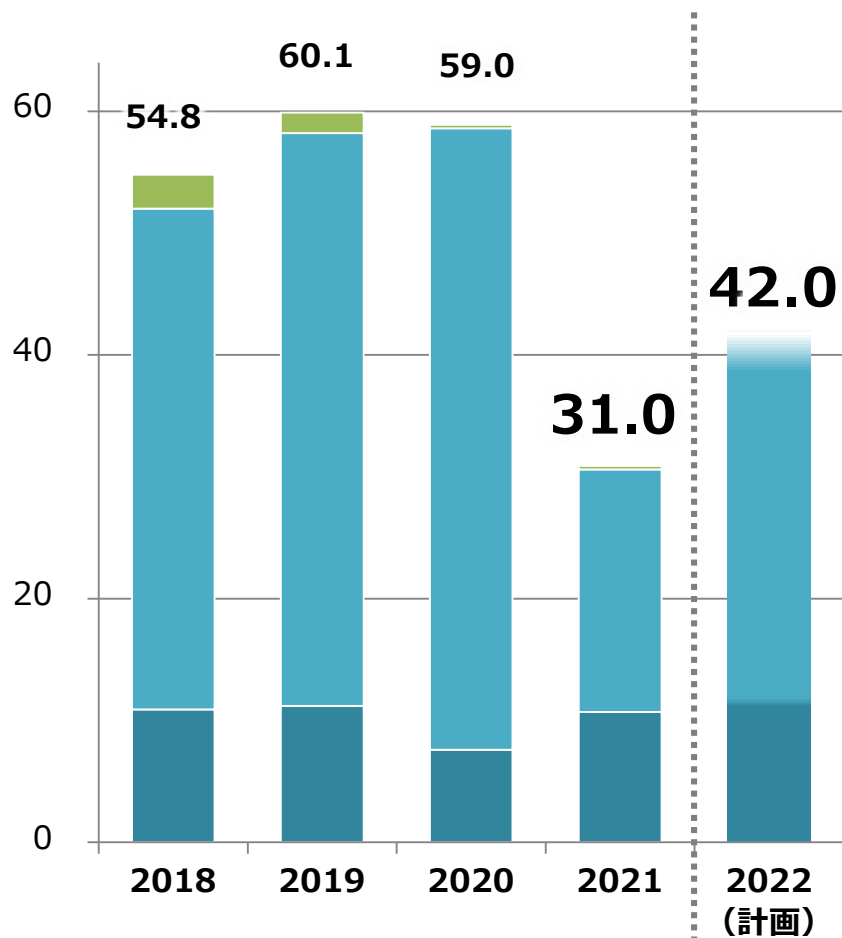
※2021年9月期より「自動車ホイール事業」を「インダストリーインフラ事業」に、「メディカル事業」を「ヒューマンインフラ事業」に移行しております。

設備投資・減価償却費の推移

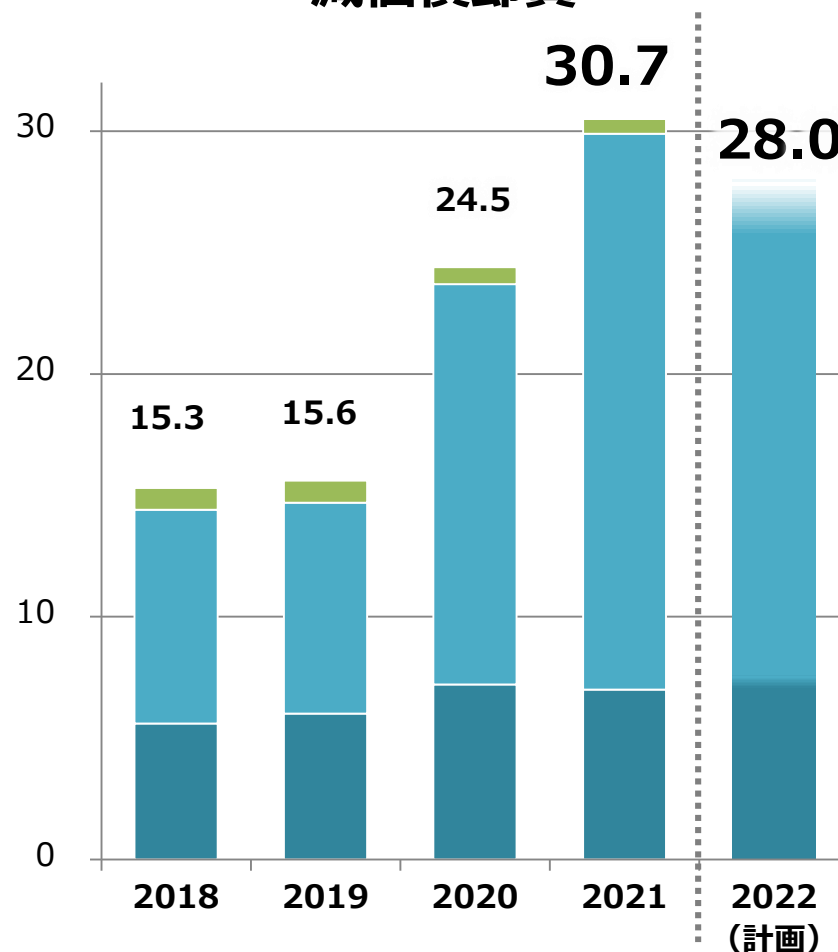
■ ソーシャルインフラ事業
 ■ インダストリーインフラ事業
 ■ ヒューマンインフラ事業
 ■ 全社

(単位：億円)

設備投資



減価償却費



※2021期より「自動車ホイール事業」を「インダストリーインフラ事業」に、「メディカル事業」を「ヒューマンインフラ事業」に移行しております。

4

MDKグループ中長期ビジョン

グローバルビジョン



-PART I-

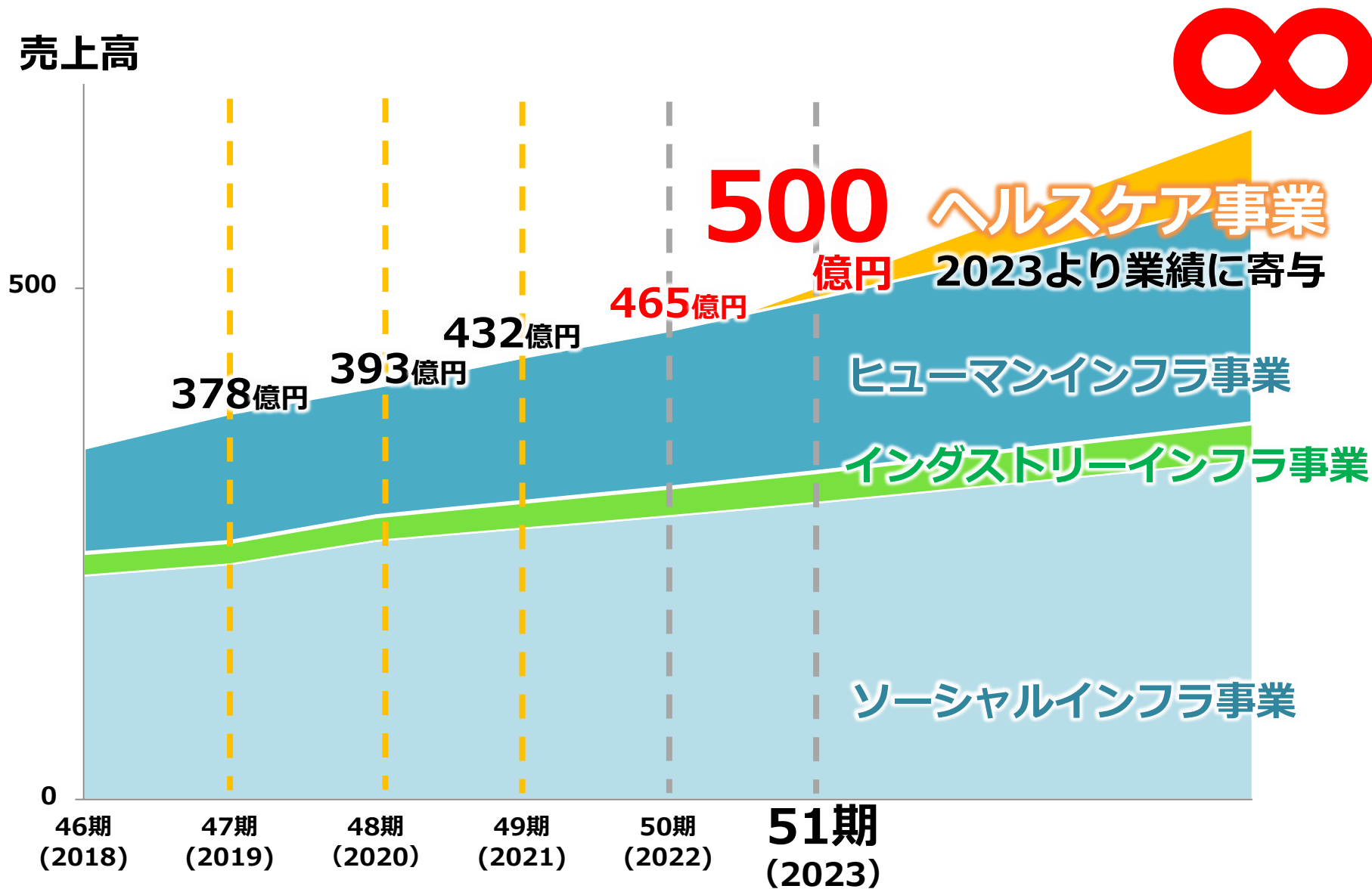
グローバルビジョン∞ PART I

2020年9月期

～ 2023年9月期

- ① 既存事業の強化と**新規事業進出**
- ② 成長戦略としての**M&A活用**
- ③ 新たなマーケットを求めるための
グローバルネットワーク拡充

グローバルビジョン∞ PART I 数値目標 (売上高推移)



グローバルビジョン∞ PART I 数値目標 (増加要因)

2023期には 設備投資・先行投資効果

- ① ソーシャルインフラ事業の業績向上(毎年5%程度増加)
- ② BBS設備投資効果(売上高43億円・営業利益11億円増加)
- ③ ヘルスケア事業の貢献

(2023期 売上25億円 営業利益4億円 目標)

(単位: 億円)

	2020期 実績 (目標)	2021期 実績 (当初目標)	2022期 目標 (当初目標)	2023期 目標
売上高	393 (403)	432 (426)	465 (462)	500
E B I T D A	71 (71)	96 (76)	95 (88)	100
営業利益	45 (45)	64 (50)	67 (67)	80
経常利益	46 (45)	63 (50)	67 (67)	80
親会社株主に帰属する 当期純利益	30 (33)	45 (37)	50 (50)	54

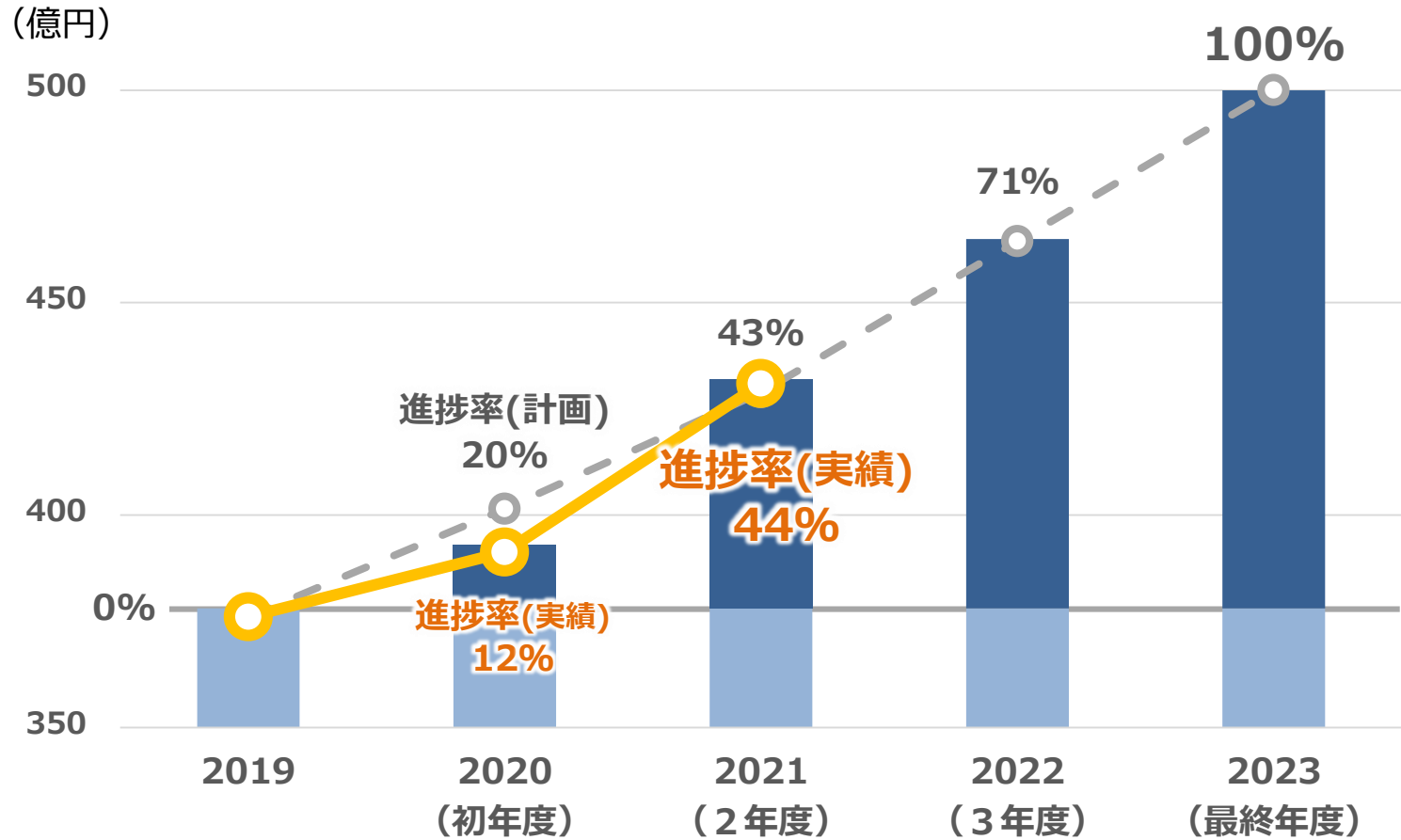
グローバルビジョン∞ PART I (セグメント別業績推移)

(単位：億円)

		2019 実績	初年度 (2020) 実績	2年度 (2021) 実績	3年度 (2022) 計画	最終年度 (2023) 計画
ソーシャル インフラ事業	売上高	230	263	277	295	280
	営業利益	38	51	59	60	50
インダストリー インフラ事業	売上高	147	129	154	170	195
	営業利益	25	7	18	22	39
ヒューマン インフラ事業	売上高	-	-	-	-	25
	営業損失(△)	△ 0.1	△ 3	△ 4	△ 4	4
全社・消去	営業利益	△ 10	△ 10	△ 9	△ 11	△ 13
合計	売上高	378	393	432	465	500
	営業利益	53	45	64	67	80

※2021期より「自動車ホイール事業」を「インダストリーインフラ事業」に、「ヘルスケア事業」を「ヒューマンインフラ事業」に移行しております。

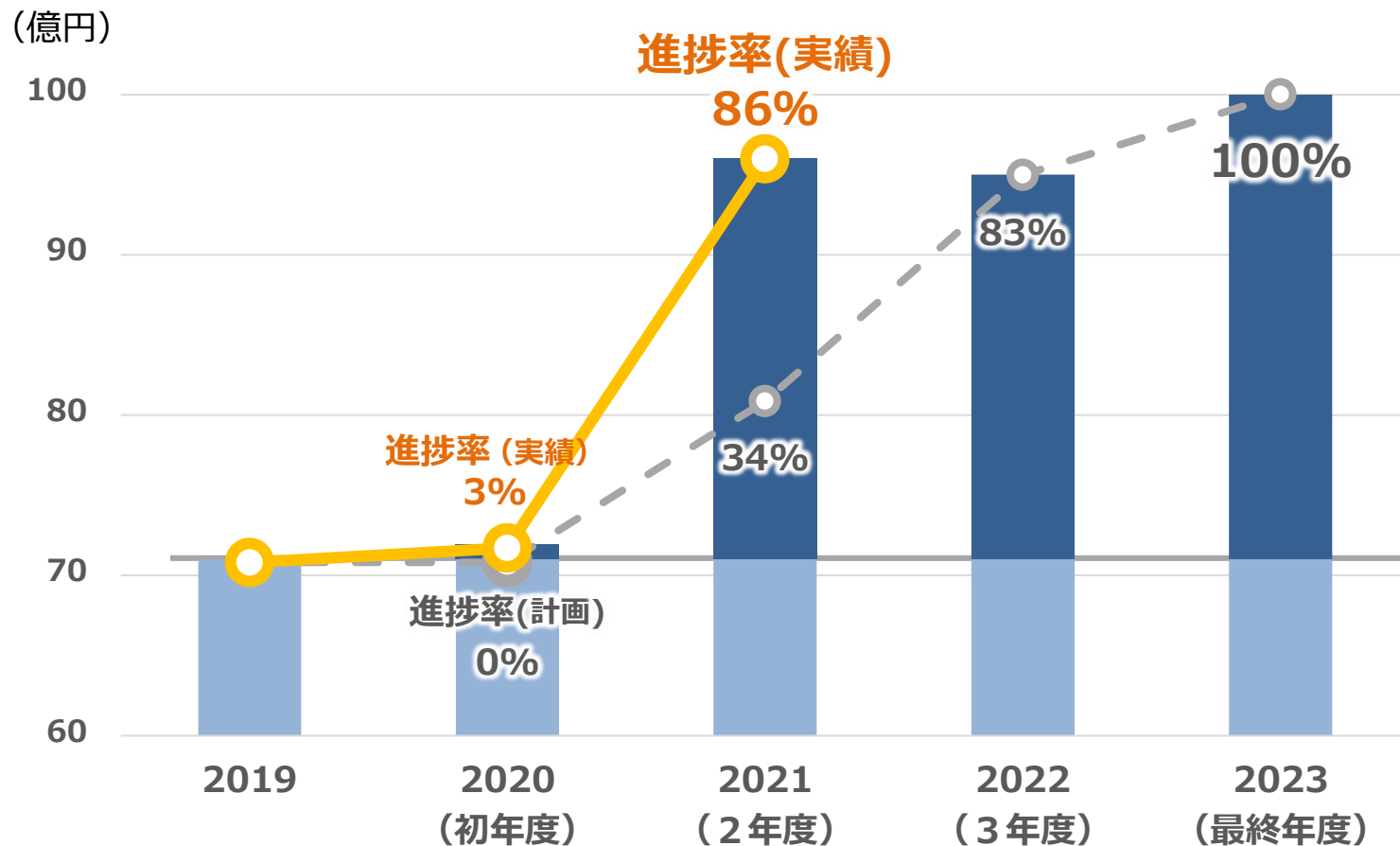
グローバルビジョン∞ PART I 売上進捗率



売上高	計画	—	403億円	430億円 (426億円)	465億円 (462億円)	500億円
	実績	378億円	393億円	432億円	—	—

() は当初計画

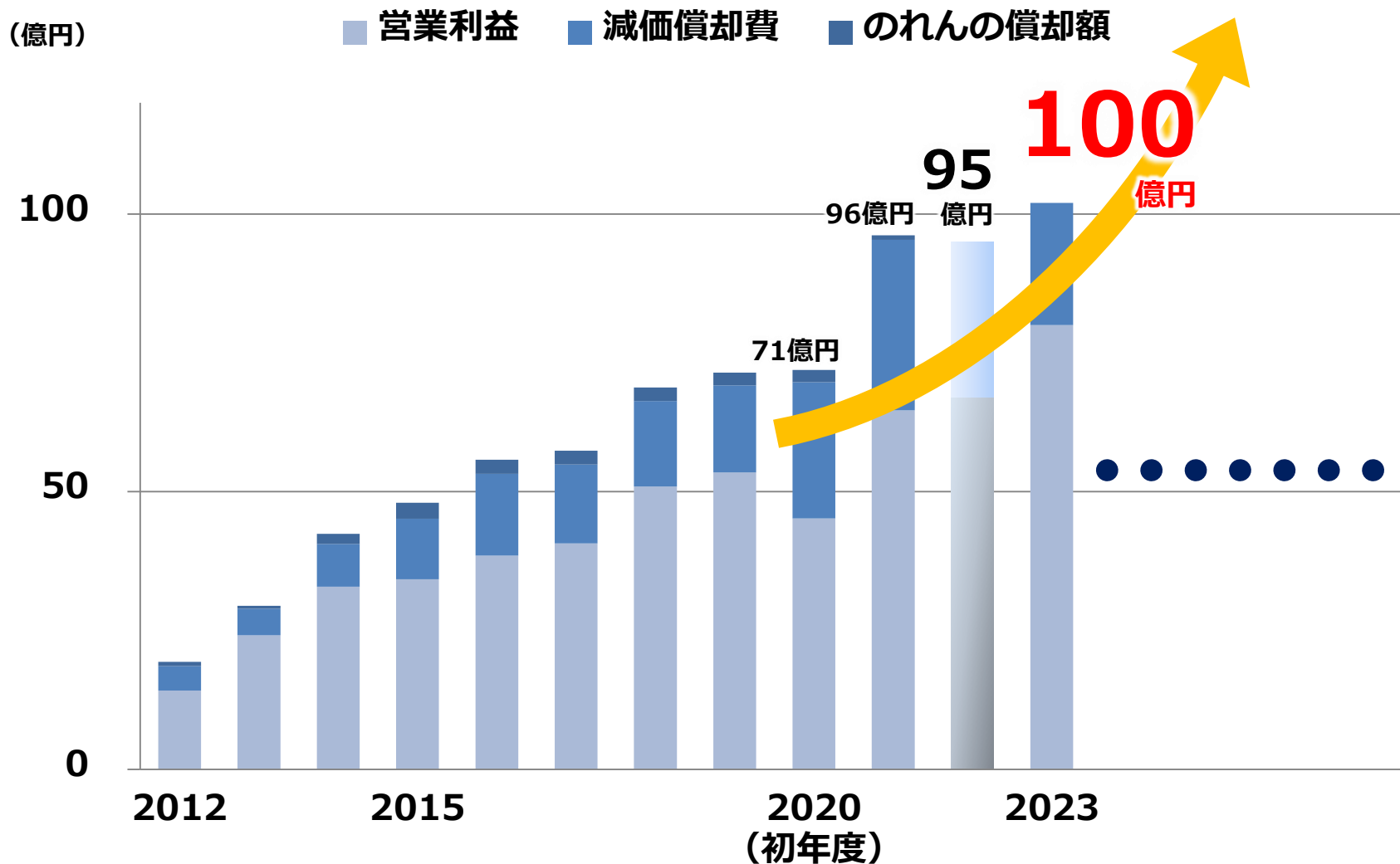
グローバルビジョン∞ PART I EBITDA進捗率



EBITDA	計画	—	71億円	81億円 (76億円)	95億円 (88億円)	100億円
	実績	71億円	71億円	96億円	—	—

() は当初計画

グローバルビジョン∞ PART I (EBITDA推移)



グローバルビジョン∞ PART I (M&A基本方針)


前提条件

- 原則、「モノづくり」の会社であること
- 優秀な人材と特別な**技術、製品**があること
- 営業、生産体制に**改善**の余地があること
- 過大な**のれん**が発生しないこと



企業価値
の向上

検討事項

- 既存事業とのシナジーだけでなく、**事業領域拡大**を目指す  次の柱となる事業を選定
(農業、医療等)
- 営業利益率**15%以上**を目指す (そのための施策)
- 新たなマーケット (海外含む) を創造する
- 当社グループの規模、ステージに見合った**インパクトのある案件**を探す

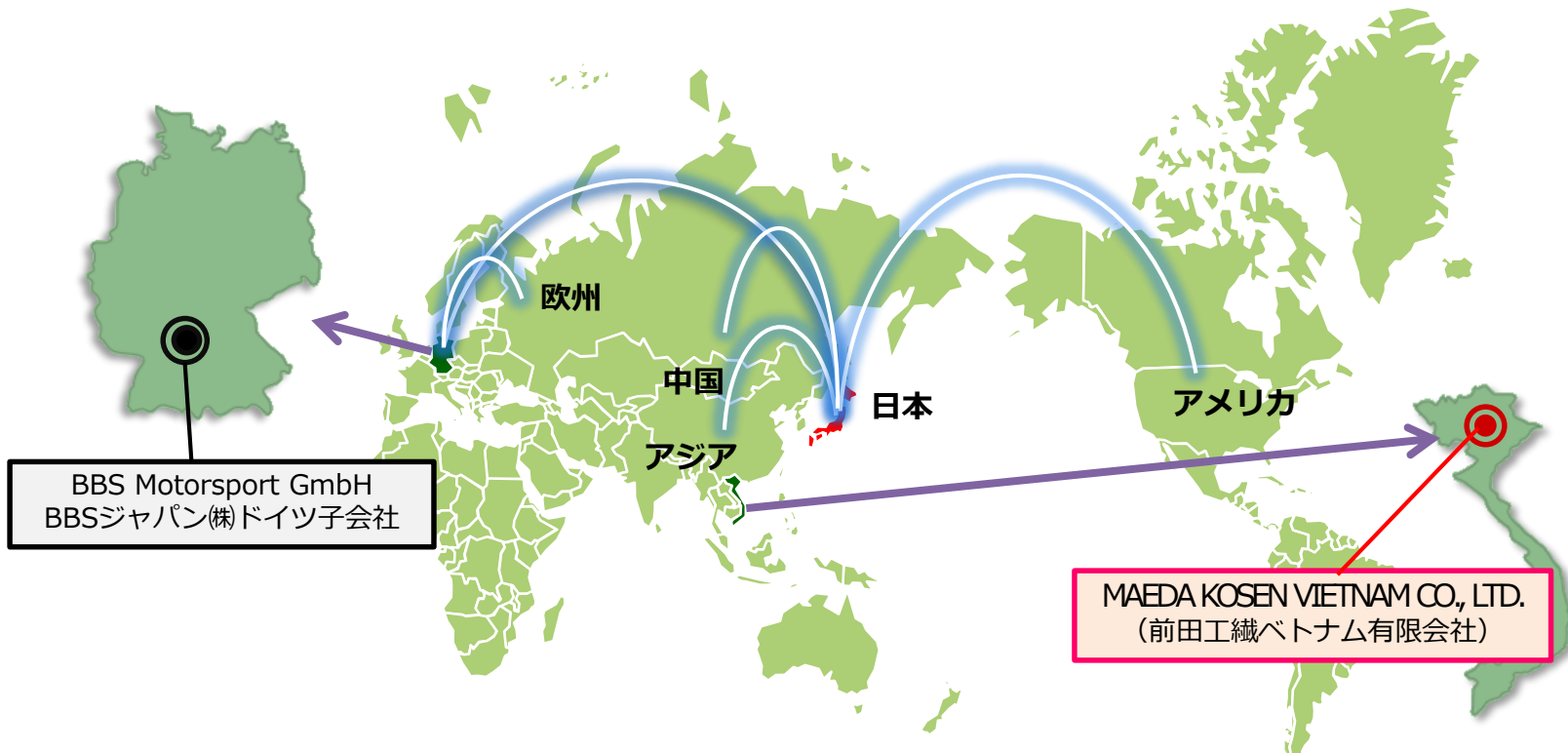
最終判断

買収の決断

PMI

- 生産現場の**整理整頓**
- 必要な**設備投資** = 自動化・効率化の徹底
- グループ統一システムによる**月次決算** ⇒ 成果の「みえる化」
- 定期的な**月次会議・経営会議**の開催による問題解決

グローバルビジョン∞ PART I (ネットワーク拡充)



- B
B
S**
- ◆ ヒューマンインフラ事業 (BBSホイール) の営業力強化のため、**アジア、米国、欧州に営業拠点の設置を検討**
 - ◆ 従来の英国、ドイツ以外の**海外自動車メーカーへのOEM供給先拡大**
 - ◆ **ドイツ子会社の設備投資**を計画 (今年度中)

- ベ
ト
ナ
ム**
- ◆ 製造拠点の増強 ⇒ **工場増設 (第5工場)**
 - ◆ 生産品目の**多品種化**
 - ◆ アセアン諸国への**営業強化** ⇒ 海外代理店網の拡大 (業務提携)



5

会社概要

企業情報

(2021年9月20日現在)

会 社 名	前田工織株式会社
所 在 地	福井県坂井市春江町沖布目第38号 3 番地
代 表 者 名	代表取締役会長 前田 征利 代表取締役社長 前田 尚宏
創 業	1 9 1 8 年 (大正7年)
設 立	1 9 7 2 年 (昭和47年)
決 算	9月20日
従 業 員 数	1,646人 (役員、派遣、嘱託・パートを含む)
資 本 金	3,472百万円
発 行 済 株 式 数	32,260,200株 (うち自己株式 748,710株)
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所市場第一部 (証券コード : 7821)
単 元 株 数	100株
株 主 総 数	2,912名

前田工織 は **混**ぜる会社です

「人」と「技術」を混ぜる会社です
混ぜると 化学反応が 起きるのです
「イノベーション」は化学反応の「果実」
世界一のイノベーターを目指し
社会のあるべき姿 人間のあるべき姿を
追い求めていきます

企業理念

基本理念

人と人の良いつながりが
すべての基本であり目標です。

経営理念

私たちは 独自の知恵と技術で
持続可能な地球 そして
安心・安全で豊かな社会を創るために
貢献してまいります。

行動理念

【MDK五徳】と【仁】

【知行合一】

1. 人も企業も「真っ直ぐ」生きよう。

義

2. 失敗を恐れず、無限[∞]の可能性に挑戦しよう。

勇

3. 現場へ出て、本質を見抜き、本気で変えよう。

信

4. どこにもないモノを、どこにもない方法で、創り出そう。

智

5. 人も企業も学び続けよう。

礼

行動指針・判断基準

行動指針

「真・善・美」の整った会社（組織）づくりへ

真 「学習」

真実を知ろう

善 「道徳」

不平不満のない職場に

美 「清潔」

工場・職場を常にキレイに

判断基準

「SSLQDC」～この優先順位で判断・行動しよう～

Safety

人の安全と健康

Society

地域社会への貢献

Law

法令順守・コンプライアンス・環境保全

Quality

品質・信頼性

Delivery

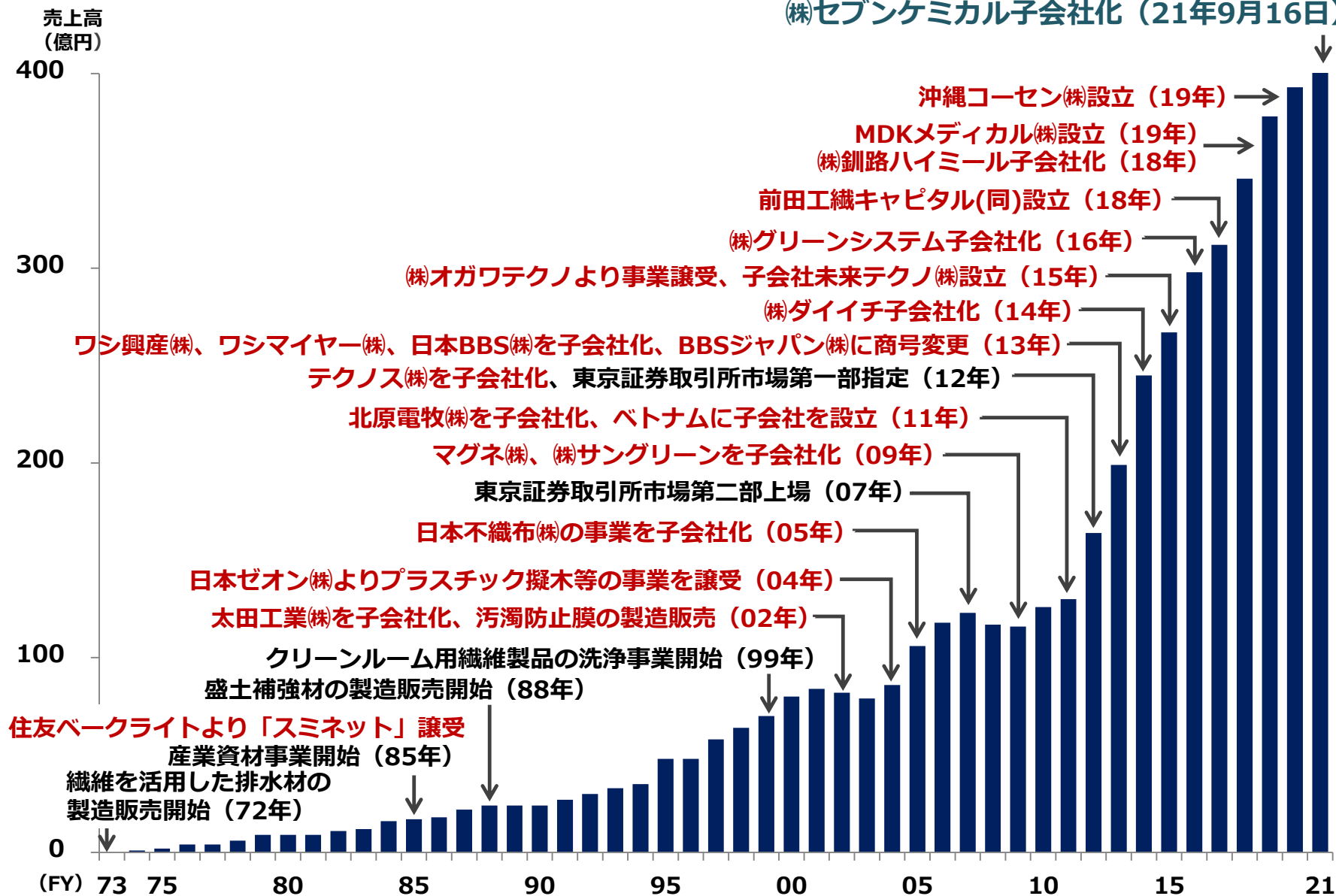
納期厳守

Cost

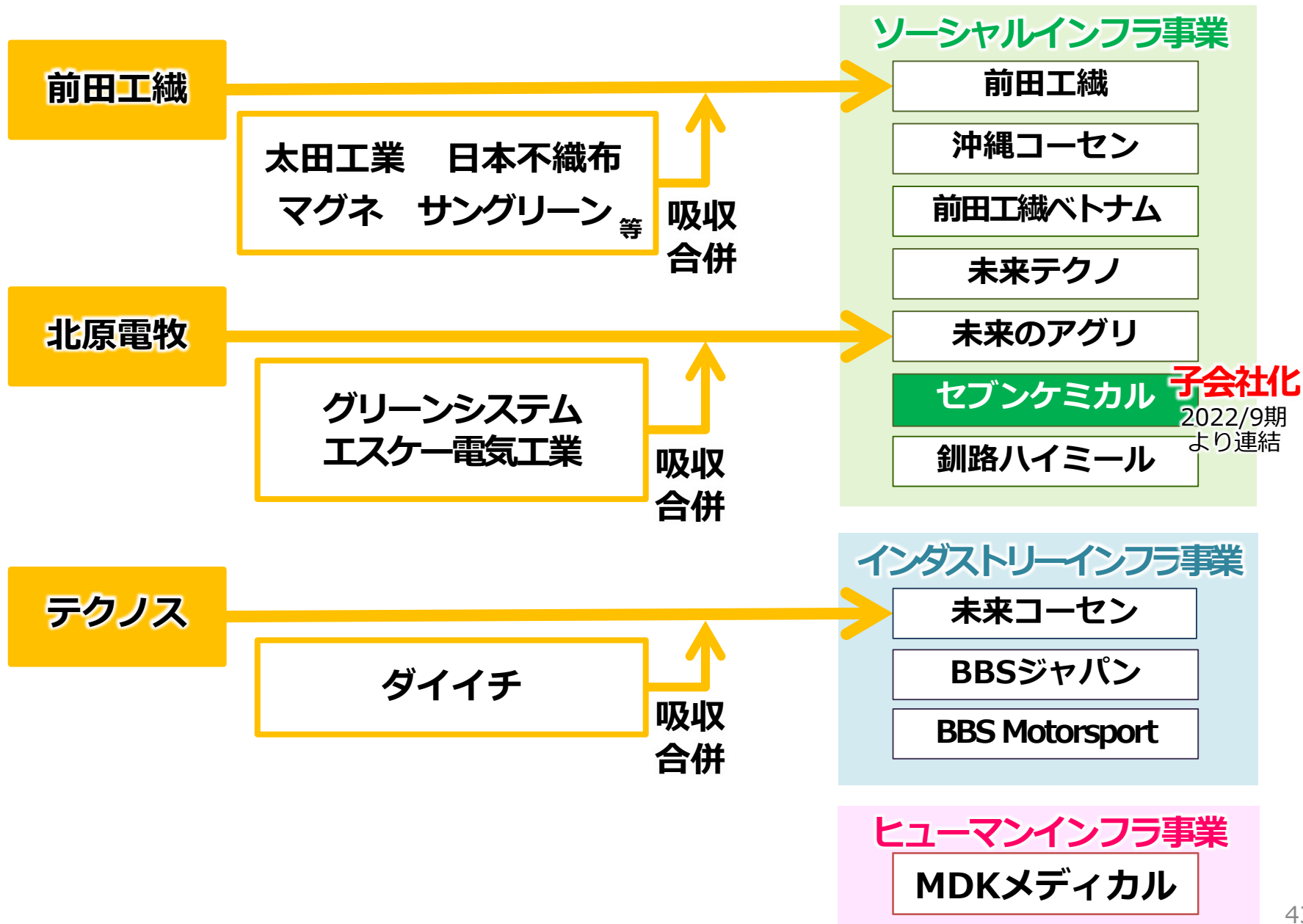
コスト削減

事業沿革と売上高

エスケー電気工業(株)子会社化 (21年2月5日)
 (株)セブンケミカル子会社化 (21年9月16日)

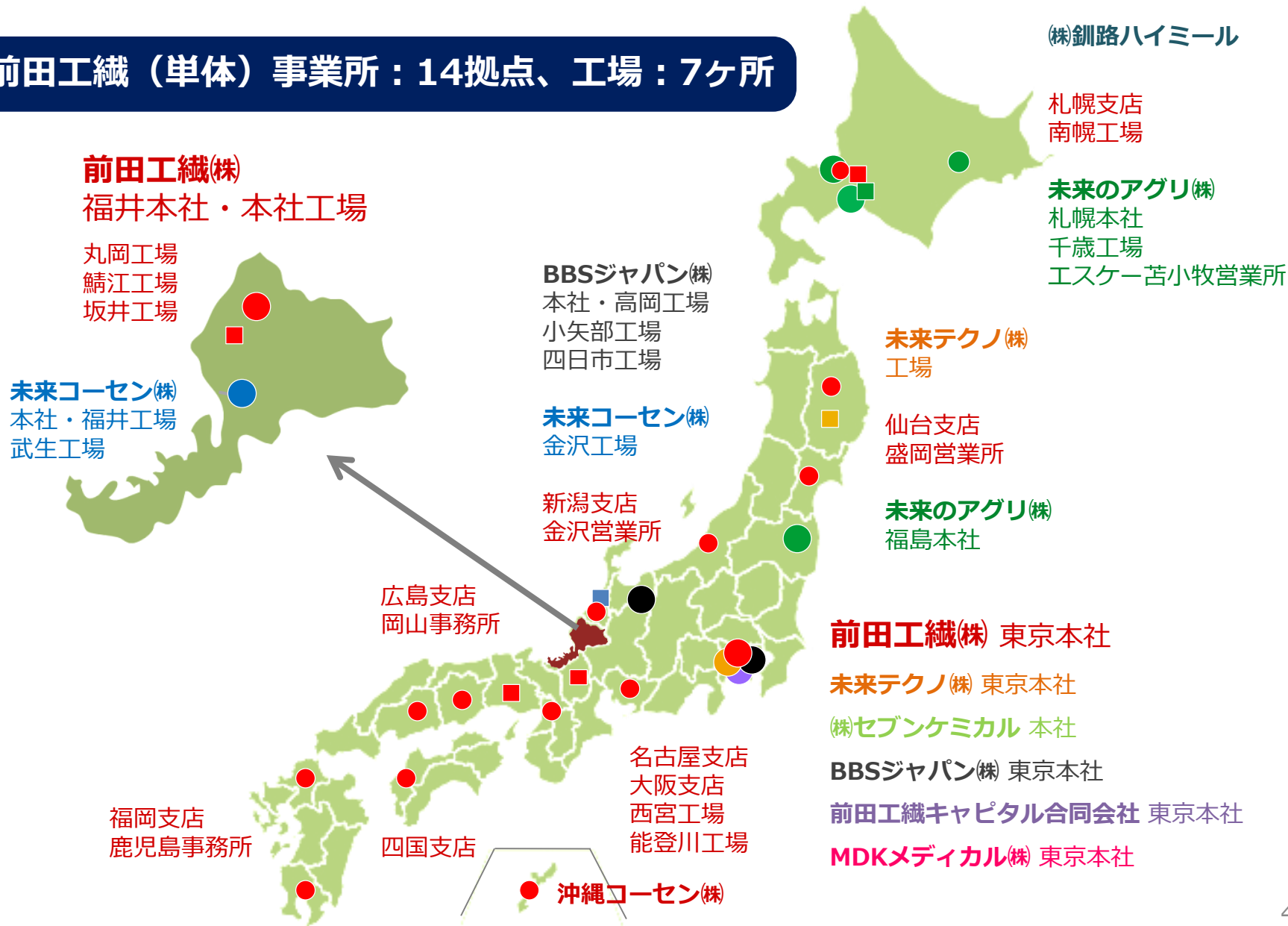


前田工織グループの変遷



ネットワーク（国内）

前田工織（単体）事業所：14拠点、工場：7ヶ所



ネットワーク (海外)



BBS Motorsport GmbH
BBSジャパン(株) ドイツ子会社



MAEDA KOSEN VIETNAM CO., LTD.
(前田工織ベトナム有限公司)
連結子会社



本資料お取り扱い上のご注意

- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。
- 本資料を作成するにあたっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。
- 本資料中の業績予想ならびに将来予想は本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご了承ください。

【本資料及び当社 I Rに関するお問い合わせ先】

前田工織株式会社 業務企画部

TEL : 0776-51-9577 URL : <https://www.maedakosen.jp>